

NEC Advanced Analytics Platform

V1.5

マネージドサービス

(データサイエンティスト養成ブートキャンプ

実践サービス向け)

サービス仕様書

1.0 版

日本電気株式会社

---

改版履歴

版	作成日	変更内容
1.0	2022/3/31	新規作成

## 目次

1	本文書について	3
1.1	本文書の位置付け	3
1.2	本文書の改版	5
1.3	用語集	5
2	サービス体系	7
2.1	AAPF マネージドサービスの動作要件	7
2.2	AAPF マネージドサービスの概要	9
2.2.1	サービス一覧	10
3	サービス内容	13
3.1	提供機能	13
3.1.1	対話型 UI (Jupyter)	13
3.1.2	WebUI 機能	13
3.1.3	ライブラリアドオン	14
3.1.4	Web API 機能	14
3.1.5	AI-API フレームワーク	14
3.1.6	その他	14
3.2	非機能要件	15
3.2.2	サービス提供時間	15
3.3	その他	16
3.3.1	問合せ	16
4	責任範囲	17
4.1	システム作成時の責任範囲	17
4.2	システム利用時の責任範囲	18
4.3	システム解約時の責任範囲	19
5	注意事項	20
6	制限事項	21
7	禁止事項	22

## 1 本文書について

本文書は、秘密保持対象ドキュメントとして、事業者の許可なくコピーおよびその配布、ホームページへの掲載を禁じます。

新規に契約をされるお客様の場合は、その時点での最新サービス仕様書を参照頂き、サービス仕様を確認してください。

AAPF マネージドサービスの提供内容は変更する場合がございます。それに伴い、本文書を見直します。

### 1.1 本文書の位置付け

本文書は、お客様、および受講者向けに事業者が提供する「データサイエンティスト養成ブートキャンプ実践サービス向け NEC Advanced Analytics Platform V1.5 マネージドサービス」（以下、AAPF マネージドサービス）のサービス仕様を記載した文書です。

関連ドキュメントは以下の通りです。

- データサイエンティスト養成ブートキャンプ実践サービス向け  
NEC Advanced Analytics Platform マネージドサービス利用条件
- NEC Advanced Analytics Platform マネージドサービス  
(データサイエンティスト養成ブートキャンプ実践サービス向け) サービス仕様書 (本書)
- V1.5 マネージドサービス Release Notes  
※データサイエンティスト養成ブートキャンプ実践サービスでは V1.3.10.0.0 の OSS のイメージファイル (Addon Image for Jupyter Notebook with OSS analytics libraries) のみ利用可能です。
- NEC Advanced Analytics Platform マニュアル類 (詳細は次頁参照)

## NEC Advanced Analytics Platform マニュアル類

No	ドキュメント名	説明
1	Release Notes (イメージ)	イメージ毎の最新バージョンの新機能、変更点、改修済みの問題、既知の問題、非推奨機能を説明するドキュメント ※データサイエンティスト養成ブートキャンプ実践サービスでは V1.3.10.0.0 の OSS のイメージファイル (Addon Image for Jupyter Notebook with OSS analytics libraries) のみ利用可能です。
2	overview (AAPF)	AAPF の概要とアーキテクチャについて説明したドキュメント
3	OSS_LICENSE (AAPF)	AAPF を構成するソフトウェアの各種ライセンスを示すドキュメント
4	OSS_LICENSE (イメージ)	イメージ毎に構成するソフトウェアの各種ライセンスを示すドキュメント
5	AAPF Getting Started	Jupyter Notebook へのアクセス方法と分析のクイックスタート方法を記載するドキュメント。前述の「overview (AAPF)」を読み、AAPF の概要を理解した後、本ドキュメントを用いて利用開始することを推奨
6	AACluster User Guide	AACluster の利用方法を記載。 Jupyter Notebook の WebAPI を利用してファイルのアップロード/ダウンロードを行う場合など AAPF にて分析を行う際に参照するドキュメント。アプリケーション開発者は後述の「AI-API 作成ガイド」を読み、AI-API を理解した後、本ドキュメントを参照することを推奨
7	AAPF WebAPI Reference	AAPF WebAPI の外部仕様について記載。 WebAPI で AACluster の作成・削除や AAPF API Token の作成・削除等を行いたい場合に参照するドキュメント ※下記 URL にアクセスし閲覧 (閲覧には Google Chrome または Firefox が必要) <a href="https://&lt;Web サービスノードの URL&gt;/docs/aapf-webapi-reference">https://&lt;Web サービスノードの URL&gt;/docs/aapf-webapi-reference</a>
8	AI-API 作成ガイド (注1)	AI-API の作成方法を具体例を交えて記載。特にアプリケーション開発者が外部アプリケーションにて AAPF の機能を利用するなど、他のアプリケーションと連携する場合などに参照するドキュメント
9	nbexec User Guide (注1)	nbexec の外部仕様について記載。nbexec は Jupyter Notebook を AI-API として実装するための Jupyter extension。AI-API 作成ガイドと合わせて、より詳細な AI-API の作成を行う際に参照するドキュメント

注1：本ドキュメントはデータサイエンティスト養成ブートキャンプ実践サービスでは利用しません。

## 1.2 本文書の改版

本文書の見直しは、AAPF マネージドサービスの提供内容の変更に伴い実施します。

## 1.3 用語集

用語	説明
AAPF (NEC Advanced Analytics Platform)	AAPF マネージドサービスに搭載している「検証～導入～活用」を包括的に支援する分析ソフトウェア。
異種混合学習	本機能はデータサイエンティスト養成ブートキャンプ実践サービスでは利用できません。
RAPID 機械学習	本機能はデータサイエンティスト養成ブートキャンプ実践サービスでは利用できません。
テキスト分析	本機能はデータサイエンティスト養成ブートキャンプ実践サービスでは利用できません。
事業者	AAPF マネージドサービスの提供者。
ブートキャンプサービス窓口	データサイエンティスト養成ブートキャンプ実践サービスでお客様とのやり取りの窓口
お客様	当社との間で利用契約を締結した法人その他の団体をいいます。本書では本契約の窓口となる方（管理者）を指します。
受講者（利用者、AAPF ユーザー）	AAPFを利用するユーザーの総称。 データサイエンティスト養成ブートキャンプ実践サービスでは本サービスの受講・復習目的以外では利用はできません。
AACluster	AAPF が提供する、分析のためのディスプレイ環境、および環境を作成するためのコマンド。Jupyter や Apache Spark といったサービス（Docker コンテナ）を効率的に利用して分析を行えます。
マネジメントノード	AAPF および AAcuster を管理するノード。Web サービスノード経由で AAcuster を起動し、分析を開始します。事業者は、このノードに接続して AAPF の各種構成変更をします。

Web サービスノード	<p>AAPF API Token の作成・削除や AACluster を作成・削除できる AAPF WebUI を提供するノード。</p> <p>AAPF WebUI/WebAPI が稼動するノード。</p>
ストレージノード	分析対象データや分析結果を格納するノード。
コンテナノード	AACluster（を構成する Docker コンテナ群）が稼動するノード。
WebUI	AAPF API Token や AACluster を操作（作成、削除など）できます。
WebAPI	任意の HTTP Client を使って WebAPI を呼び出し、AACluster を操作（作成、削除など）できます。
AI-API	<p>AI-API を呼び出すことで Jupyter Notebook ファイル(. ipynb) を実行することができます。</p> <p>※本機能はデータサイエンティスト養成ブートキャンプ実践サービスでは利用しません。</p>
AI-App(s)	<p>AI-API を用いて開発した各種アプリケーション。</p> <p>※本機能はデータサイエンティスト養成ブートキャンプ実践サービスでは利用しません。</p>

## 2 サービス体系

AAPF マネージドサービスは、データサイエンティスト養成ブートキャンプ実践サービスでは本サービスの受講・復習目的で利用する研修環境として、事業者側でパブリッククラウドサービス上に AAPF 環境を構築し、運用・保守までワンストップで提供するサービスです。

AAPF マネージドサービスの注意、制限および禁止事項については、それぞれ「5. 注意事項」「6. 制限事項」「7. 禁止事項」を参照してください。

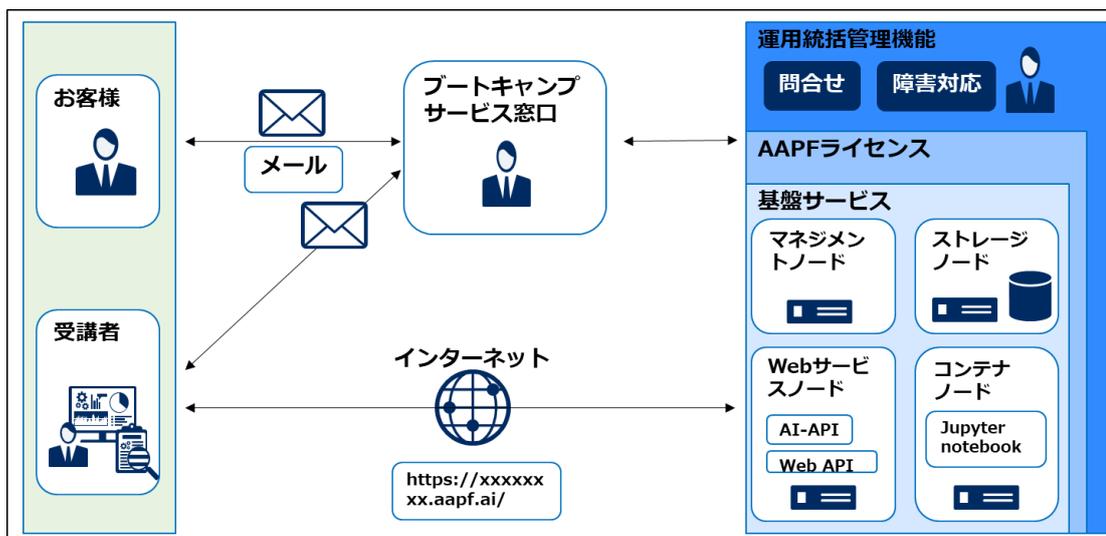


図 2.1 AAPF マネージドサービスの体系図

### 2.1 AAPF マネージドサービスの動作要件

AAPF マネージドサービスの動作要件は以下の通りです。

表 2.1 AAPF マネージドサービスの動作要件

項目	要件
サーバスペック、ストレージ容量	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユーザーごとに下記コンテナノードのスペック、およびストレージノードのストレージ容量が割り当てられます。</li> <li>最終実技以外：vCPU1 コア、8GB メモリー、ストレージ 20GB</li> <li>最終実技：vCPU2 コア、16GB メモリー、ストレージ 20GB</li> </ul> <p>※ユーザーごとの vCPU 数、メモリー量の変更はできません。</p> <p>※vCPU 数は、ユーザーごとの最低割当保証です。他ユーザーが vCPU を使用していない場合、空きに応じて割当保証以上の vCPU 数を利用できます。メモリー、ストレージ容量は上限です。</p>

<p>ネットワーク</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者にて受講者が分析環境を利用するための URL (FQDN) を決定し、お客様に提供します。</li> <li>※URL は変更できません。</li> <li>※受講者端末から AAPF マネージドサービスへのアクセスするため以下の要件を満たす必要があります、</li> <li>-AAPF アクセスのために最低限必要なサービスポート (https(443)/tcp) が許可されている事</li> <li>-HTTPS 通信において[GET/POST/PUT/DELETE/PATCH/WS]メソッドの通信が許可されている事</li> </ul>
<p>必須ソフトウェア</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Chrome (Version 67 以上), Firefox (Version 52 以上)</li> <li>※上記は、受講者が Web サービスノードに HTTPS にて接続し、本サービスを利用するために必要な Web ブラウザです。Internet Explorer、Microsoft Edge 等の他のブラウザはサポート外となります。</li> </ul>
<p>ライセンス</p>	<p>下記機能はデータサイエンティスト養成ブートキャンプ実践サービスでは利用できません。データサイエンティスト養成ブートキャンプ実践サービスでは V1. 3. 10. 0. 0 の OSS のイメージファイル (Addon Image for Jupyter Notebook with OSS analytics libraries) のみ利用可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・異種混合学習機能 (SAMPO/FAB、sklearn-fab)</li> <li>・RAPID 機械学習マッチング機能</li> <li>・RAPID 機械学習時系列数値解析機能</li> <li>・テキスト分析機能</li> </ul>
<p>認証方式</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AAPF マネージドサービスでは、以下認証方式を許可しています。</li> <li>WebUI ログイン：パスワード認証</li> <li>AI-API 利用： Jupyter Notebook で発行した Jupyter Token による認証</li> <li>※WebUI ログインは受講者(AAPF ユーザー)のユーザー名とパスワード使用。</li> <li>・パスワードは以下の種類があり、各種制限があります。</li> <li>WebUI パスワード： 10 文字以上の英数字記号。英字と数字は必ず 1 文字以上含むこと</li> </ul>
<p>セキュリティ</p>	<p>下記 3 つの方針でセキュアにご利用頂けます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ID、パスワードによるログイン認証。</li> <li>・データ分析を行う通信はすべて HTTPS (TLSv1. 2) によって暗号化。</li> <li>・事業者によるアクセス権設定により、受講者は受講者自身のストレージにのみアクセス可能。</li> </ul> <p>また、AAPF V1. 5 マネージドサービスからストレージノードのユーザーデータを暗号化します。ストレージデバイスが盗難・流用された場合に秘匿性を保ちます。</p>

## 2.2 AAPF マネージドサービスの概要

AAPF マネージドサービスの提供イメージは、図 2.2 の通りです。

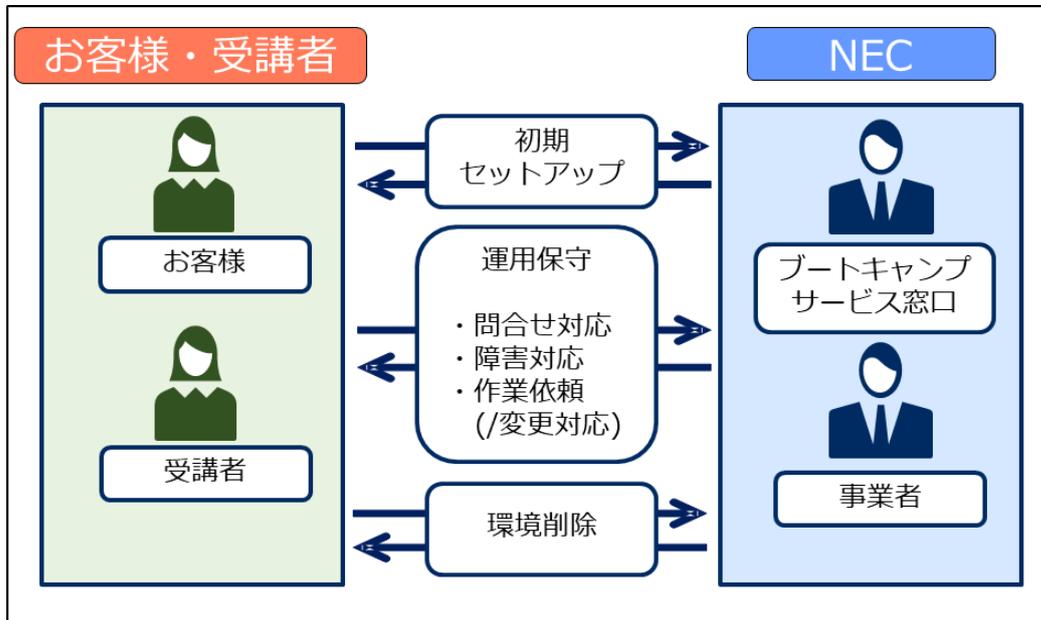


図 2.2 AAPF マネージドサービスの提供イメージ

## 2.2.1 サービス一覧

AAPF マネージドサービスのサービス一覧は以下の通りです。

表 2.2 サービス一覧表

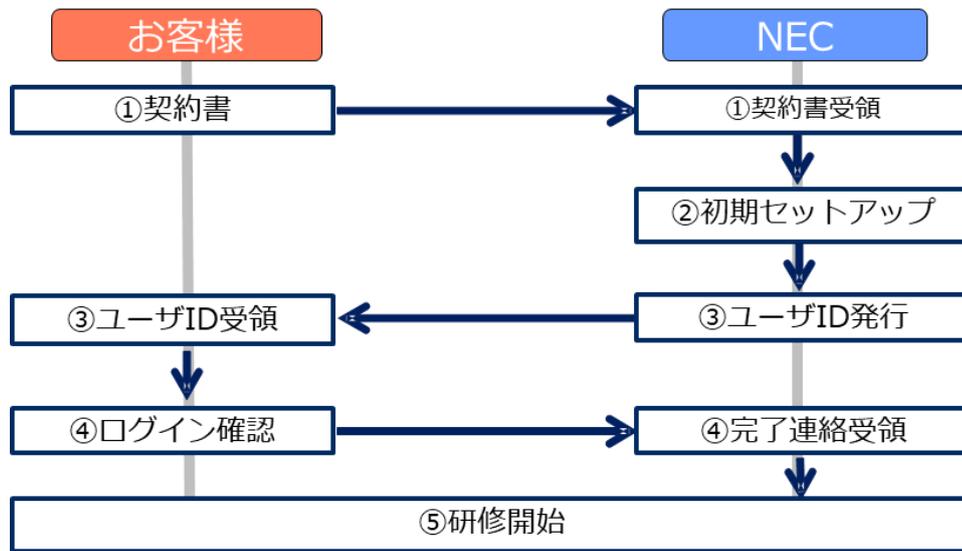
サービス		説明
初期セットアップ		分析環境を利用できる状態にセットアップします。
運用・保守 (サポート対応) (※1)	問合せ対応	受講者からの問合せに対応します。
	障害対応	障害発生時に早期復旧に向けて対応します。
	作業依頼	受講者からの依頼に応じて対応します。対応可能な作業は払い出し後のユーザー変更、アカウントロックなどの対応です。なお、依頼内容によっては対応できない場合もあります。
環境削除		データサイエンティスト養成ブートキャンプ実践サービス終了日に環境を削除します。

※1 運用・保守について、プランごとにひと月のサポート対応件数の上限を規定しています (プランA: 8回、プランB: 10回、プランC: 12回まで)。上限を超えた場合はお客様と協議のうえ対応を決定します。

なお、サポート対応として、約2時間/件の作業を想定しております。作業規模が想定を超える作業の依頼につきましては別途費用含め調整が必要となります。問合せ・依頼方法は「3.3.1 問合せ」を参照ください。

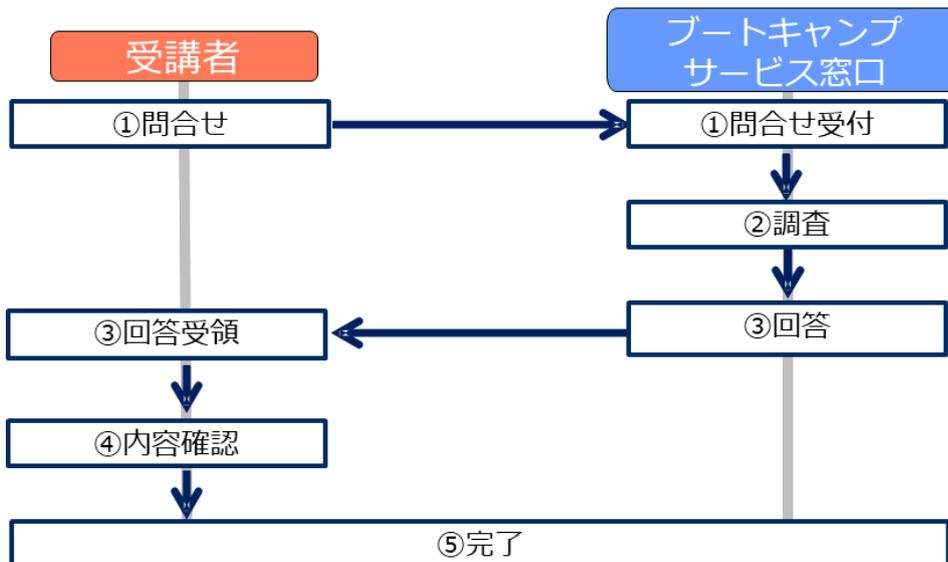
サービスのフローは以下の通りです。

◆初期セットアップ

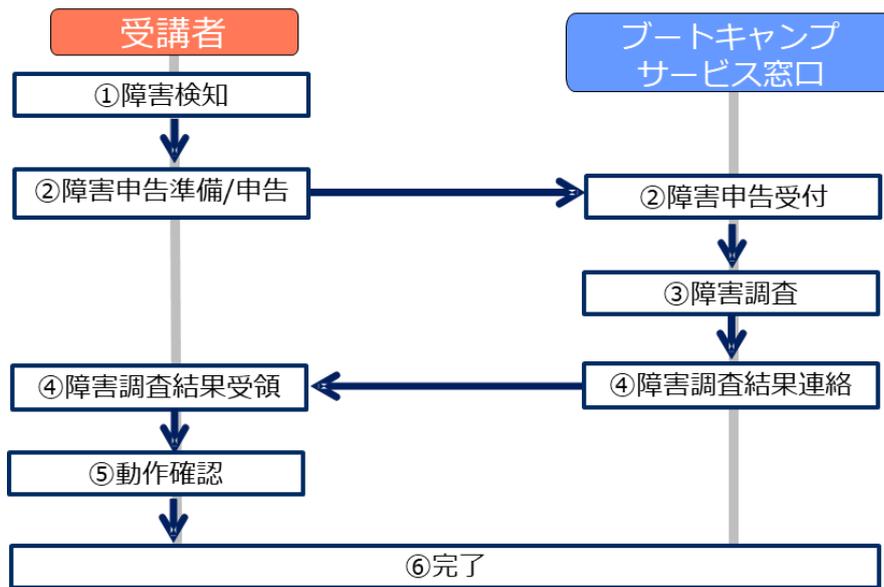


◆運用・保守

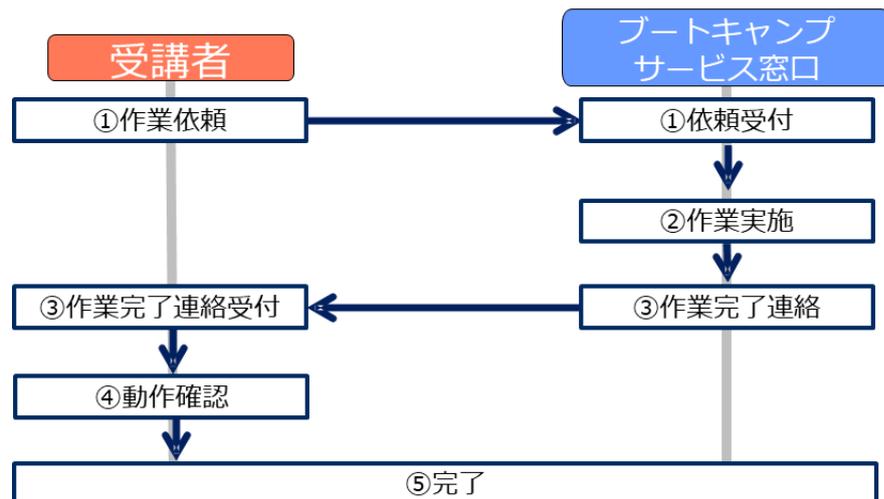
・問合せ対応



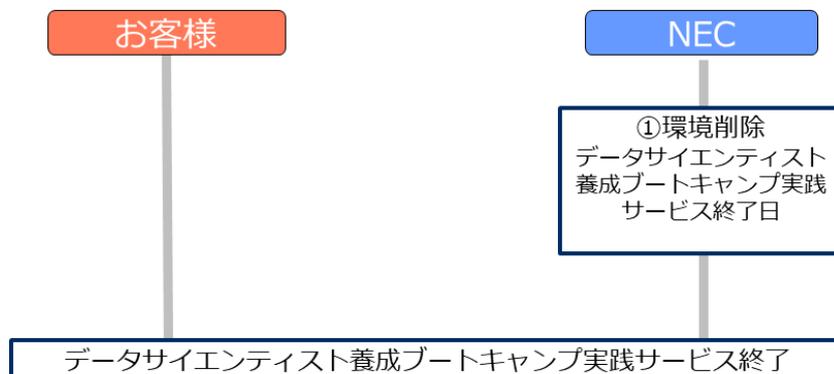
・障害対応



・作業依頼



◆環境削除



### 3 サービス内容

AAPF マネージドサービスで提供するサービスの内容について説明します。

#### 3.1 提供機能

AAPF マネージドサービスでは、以下の機能を提供します。各機能の詳細については対応する本節以後の各項を参照してください。

表 3.1 提供機能一覧

機能名	対応する項
対話型 UI (Jupyter)	3.1.1
WebUI 機能	3.1.2
ライブラリアドオン	3.1.3
Web API 機能	3.1.4
AI-API フレームワーク	3.1.5
その他	3.1.6

##### 3.1.1 対話型 UI (Jupyter)

Jupyter Notebook による対話的な分析や、ノウハウの容易な記録と共有が可能です。

詳細は AAPF マニュアル「AAPF Getting Started」を参照してください。

注: データサイエンティスト養成ブートキャンプ実践サービス向けでは他のユーザーとの共有領域を使って共有することはできません。Jupyter Notebook をローカルな環境でやり取りするなどして共有してください。

対話型 UI の利用にあたり、サポートブラウザは以下の通り、AAPF の仕様に準拠します。

- Chrome (Version 67 以上)
- Firefox (Version 52 以上)

##### 3.1.2 WebUI 機能

AAPF が提供する WebUI 機能を利用して、ウェブブラウザ上で分析を実行するオペレーションができます。

AAPF マネージドサービスでは、WebUI 機能を持つ Web サービスノード、およびコンテナノードへのアクセス手段として、サブドメインと SSL 証明書を提供します。以下、それぞれの提供内容について記載します。

WebUI の利用にあたり、サポートブラウザは以下の通り、AAPF の仕様に準拠します。

- Chrome (Version 67 以上)

・Firefox (Version 52 以上)

※AAPF マニュアル「AACluster User Guide」の「付録」の「AAPF WebUI について」の「サポートブラウザ」を参照してください。

### 3.1.2.1 FQDN の提供

AAPF マネージドサービスの構築ごとにシステムが自動で FQDN を払い出します。

なお、ドメイン名は事業者側で払い出します。

お客様、および受講者がドメイン名およびサブドメイン名を選択することはできません。

### 3.1.3 ライブラリアドオン

稼働中の AACluster に分析エンジン・ツール（アドオンライブラリ）を追加できます。

詳細は AAPF マニュアル「AACluster User Guide」を参照してください。

### 3.1.4 Web API 機能

AAPF が提供する AACluster 管理用 Web API、および分析手順を記述した Notebook を WebAPI として実行できます。ストレージノードへのデータアップロード/ダウンロードも可能です。

詳細は AAPF マニュアル「AACluster User Guide」を参照してください。

### 3.1.5 AI-API フレームワーク

分析手順を記述した Notebook を AI-API として実行するための機能を提供します。

※本機能はデータサイエンティスト養成ブートキャンプ実践サービスでは利用しません。

### 3.1.6 その他

・Jupyter Notebook Server のログ

AACluster 上で起動している Jupyter Notebook Server のログを受講者が確認できるようになりました。AACluster で何らかの問題が発生した場合に、受講者がエラーログを確認できるようになりました。詳細は『AACluster User Guide』-「AACluster について」-「トラブルシューティング」を参照ください。

## 3.2 非機能要件

本節では AAPF マネージドサービスの非機能要件について説明します。

### 3.2.1.1 計画停止の規定

計画停止（お客様都合による停止および緊急作業による停止を除く）は以下の2種類あります。いずれもサービス提供時間内でも本システムを稼働停止します。停止日時は事業者が指定します。ユーザーが指定することはできません。

- ・外部サービスの計画停止。
  - ・ 外部サービスに準拠します。
- ・ AAPF のアップデートに伴う計画停止。
  - ・ 通知タイミング：事前通知
  - ・ 通知手段：メール(停止約1週間前と、約4時間前)
  - ・ 緊急の場合はこの定め以外の限りでない。

### 3.2.1.2 AAPF マネージドサービスのアップデート

AAPF は以下の方針で適宜アップデートを行います。

- ・脆弱性については事業者側でパッチ適用等の必要性を検討し、必要に応じて適用します（お客様が指定することはできません）
- ・ OS や EKS、Python などサポート期限が設けられているものは、サポートが切れる前にバージョンアップを行います（互換性を可能な限り維持するため必要最小限のバージョンアップを行う）。
- ・ OSS など事業者以外が更新するプログラムの場合、互換性を事業者では保証できないため、受講者で確認・対応をお願いします。OSS のアップデートも1か月前に通知いたします。

### 3.2.1.3 障害発生時の対応

分析環境に影響のある障害が発生した場合、お客様に対して障害通知を行います。

## 3.2.2 サービス提供時間

本サービスにおける提供時間は、1日24時間かつ1週7日とします。（計画停止と緊急作業による停止を除く）

ただし、サポート対応（問合せ対応、障害対応、作業依頼受付）については弊社営業日 9:00～17:00 で日本語での対応となります。

### 3.3 その他

#### 3.3.1 問合せ

AAPF マネージドサービスに関する問合せ手段は、以下概要に示す通りとします。

表 3.2 問合せの概要

サポート対応内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービスの利用方法に関する質問</li> <li>・サービスの不具合に関する申告</li> <li>・アカウントロック解除、ユーザー変更などの作業依頼（注）</li> <li>・プランA：8回、プランB：10回、プランC：12回まで受け付けます。上限を超えた場合はお客様と協議のうえ対応を決定します。なお、AAPF マネージドサービスの不具合に起因する問合せは対応件数に含めません。</li> </ul>
問合せ	手段	<p>契約期間中にお客様、受講者のみ問合せ可能です。ブートキャンプサービス窓口でメールで問合せしてください。</p> <p>宛先：契約後にご連絡します</p> <p>件名：【ブートキャンプ】[種別] 問合せ内容</p> <p>※種別は[質問], [障害申告], [作業依頼], [期間変更]より選択ください。</p> <p>※なお、障害の場合、調査目的で本サービス運用保守要員向けの分析ユーザーを作成し利用する場合があります。</p>
	受付時間	NEC 営業日 9:00-17:00 (JST)
	回答時間	NEC 営業日 9:00-17:00 (JST)

注：作業依頼については対応希望日の3営業日前までに申請してください。（研修中を除きます）

## 4 責任範囲

AAPF マネージドサービスの責任範囲は、以下の分担とさせていただきます。

### 4.1 システム作成時の責任範囲

AAPF マネージドサービスシステム作成および初期設定における責任範囲は、以下の分担とさせていただきます。

表 4.1 システム作成時の責任範囲  
(凡例) ○：責任範囲 -：責任範囲外

項目	事業者責任範囲	お客様・受講者責任範囲
データサイエンティスト養成ブートキャンプ実践サービス利用申請	-	○
AAPF マネージドサービス環境へのアクセスに必要な通信手段の準備 ※1 ・ 受講者端末 ・ インターネット経由での接続 など	-	○
マネジメント/Web サービス/ストレージ/コンテナノードセットの環境準備 ・ 仮想サーバの構築 ・ マネジメントノードのインストール ・ Web サービスノードのインストール ・ ストレージノードのインストール ・ コンテナノードのインストール ・ SSL 証明書の払い出し ・ FQDN の払い出し	○	-
マネジメント/Web サービス/ストレージ/コンテナノードセットの環境設定 ・ 各ノードの連携設定 ・ 受講者 (AAPF ユーザー) の登録	○	-
Python パッケージ (DB ドライバ含む) の追加	-	○

※1 以降に記載する環境利用時、および環境削除時においても、同様の責任範囲とします。

## 4.2 システム利用時の責任範囲

AAPF マネージドサービスのシステム利用（運用）時における責任範囲は、以下の分担とさせていただきます。

**表 4.2 システム利用時の責任範囲**  
 (凡例) ○：責任範囲 -：責任範囲外

項目	事業者責任範囲	お客様・受講者 責任範囲
AAPF の利用	-	○
AAPF の運用（AAPF を利用可能な状態とする）	○	-
AAPF マネージドサービスのシステムに含まれるソフトウェアのパッチ適用、アップデート※1	○	-
AAPF マネージドサービスのアップデート予定の通知	○	-
AAPF マネージドサービスのアップデートに伴うユーザープログラムにおける差分吸収	-	○
SSL 証明書の更新	○	-
受講者（AAPF ユーザー）の ID、パスワード管理	-	○
データの管理※2	-	○
AACluster 起動時のリソース選択（CPU タイプ選択）	-	○※3

※1 パッチ適用、アップデート基準の設定・適用判断、および適用方法は事業者が決定します。

※2 当社で AAPF マネージドサービス環境を削除することによって、環境に保管しているデータはすべて削除されますのでご注意ください。

※3 契約したリソースを超える CPU タイプが表示されるケースがありますが選択できません。

### 4.3 システム解約時の責任範囲

AAPF マネージドサービスシステム削除における責任範囲は、以下の分担とさせていただきます。

**表 4.3 システム削除時の責任範囲**

(凡例) ○：責任範囲 -：責任範囲外

項目	事業者責任範囲	お客様・受講者 責任範囲
データサイエンティスト養成ブートキャンプ実践サービス終了に伴うユーザー削除	○	-

## 5 注意事項

AAPF マネージドサービスの注意事項は下記のとおりです。

- 1) AAPF マネージドサービスのシステムのパッチ適用、アップデートは事業者側での作業となります。それらの適用基準の設定、適用の判断、および適用方法は事業者側が決定します。お客様、および受講者側での適用の判断、適用はできません。
- 2) AAPF の実行性能については保証しません。
- 3) AAPF における注意事項は、各 AAPF マニュアルを確認ください。
- 4) AAPF マネージドサービスの環境に独自にアプリケーションをインストールすることはできません。別にサーバを作成頂きインストール頂くこととなります。
- 5) クラウドサービスのアカウントはお渡しできません。
- 6) 定期メンテナンスや計画停止時に AACluster の削除が必要なケースがあります。事前の連絡に従い削除、サービス再開後に再作成が必要となります。
- 7) AAPF やイメージのアップデートにより notebook や AI-API に影響が発生する場合があります。アップデート時の通知内容にご注意ください。
- 8) AACluster 起動時のリソース選択（CPU タイプ選択）時に契約したリソースを超える CPU タイプが表示されるケースがありますが選択できません。
- 9) 作成した AACluster の性能タイプのコア数の合計が契約したコア数を超えない範囲で、複数の AACluster を作成できます。合計が契約コア数を超えて AACluster を作成しようとすると、エラーとなり、AACluster を作成できません。
- 10) AAPF マネージドサービスのアップデートに関する注意事項は、「3.2.1.3 AAPF マネージドサービスのアップデート」を参照してください。

## 6 制限事項

AAPF マネージドサービスの制限事項は下記のとおりです。

- 1) AAPF の制限事項、サポート対象外の機能等は、「NEC Advanced Analytics Platform v1.5 マネージドサービス Release Notes」、および各イメージごとの「Release Notes」を参照してください。
- 2) AAPF の各分析エンジンにおける制限事項は、各分析エンジンのマニュアルを確認してください。
- 3) お客様、および受講者は各ノードにアクセスすることはできません。そのため、お客様、および受講者側で各ノードに直接アクセスしてアプリケーションなどソフトウェアをインストールすることはできません。
- 4) お客様、および受講者は本仕様書に記載の変更可能な設定を変更することはできません。
- 5) サーバの追加やネットワーク機器の変更など、本仕様書に記載の変更可能な設定以外に設定・構成を変更することはできません。
- 6) お客様、および受講者がライブラリアドオン機能などを使用してインストールした、あるいは個別にインストールを依頼したライブラリやパッケージなどのソフトウェア、およびそれらによるプレインストールされていた AAPF への影響については、サポートの対象外とさせていただきます。
- 7) 脆弱性への対応などのため OS や、OSS などをアップデートしたことによるお客様、および受講者が作成したプログラム、およびインストールしたソフトウェアへの影響はサポートの対象外とさせていただきます。
- 8) プレインストールされている AAPF に含まれる OSS について問い合わせは受け付けますが、サポート対象外とさせて頂く場合もあります。

## 7 禁止事項

AAPF マネージドサービスの禁止事項は下記のとおりです。

- 1) 事業者により提供される AAPF マネージドサービスのコンテナイメージの持ち出しは禁止します。
- 2) データサイエンティスト養成ブートキャンプ実践サービス向け NEC Advanced Analytics Platform マネージドサービス利用条件で規定された範囲外での利用は禁止します。
- 3) 特定個人情報（マイナンバーをその内容に含む個人情報）、および個人が特定される生体情報を本サービス環境に格納することは禁止とさせていただきます。

## 商標について

- 本マニュアルに掲載された各社名、各製品名、各ロゴは、各社の商標または登録商標です。
-

NEC Advanced Analytics Platform  
Ver1.5  
マネージドサービス  
(データサイエンティスト養成ブートキャン  
プ実践サービス向け)  
サービス仕様書

© NEC Corporation 2022

2022年 3月

日本電気株式会社

(禁無断複製)